

通期の業績見通し / 中長期的経営戦略

Full-Year Outlook / Medium-Term Management Strategy

1

通期の業績見通し

当社は、自社の持つ小型・軽量・薄型・省電力といったコア技術を活用し、引き続き戦略事業の強化を推進してまいります。デジタルカメラは、レンズにセラミックスを用いた光学ズーム搭載の世界最小モデルや、CIPA規格で約400枚の撮影を実現した長電池寿命／大画面液晶搭載モデルなど携帯性と高性能を両立した最先端商品により、国内はもとより今後成長が見込まれる海外市場での拡大も強気に推進してまいります。電波ソーラー時計は、超薄型モデルに加えフルメタルモデルやマルチバンド対応モデルと女性市場の拡大により世界市場における電波・ソーラー化を拡げてまいります。電子辞書は、国内学生市場を中心に需要が堅調に推移していくと予測され、さらに韓国、ドイツ、スペイン語圏を始めとした海外市場のシェアを向上させ、世界の教育市場におけるトップブランドを目指してまいります。携帯電話は、開発合併会社の強みを活かし、今後の技術革新に対応した競争力ある商品を開発してまいります。また共通プラットフォームの構築などにより、開発におけるコストとスピードの改善による収益力の向上を目指します。TFT液晶は、圧倒的シェアを確保しているデジタルカメラのモニター向けに加え、携帯電話向け比率を拡大させ引き続き生産性の向上に努めてまいります。

2004年度の業績見通し(連結)

売上高 6,000億円 (前期比 +14.6%)	営業利益 420億円 (前期比 +52.8%)	経常利益 370億円 (前期比 +72.5%)	当期純利益 200億円 (前期比 +41.1%)
-----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------

2

中長期的経営戦略

1. 収益力の向上

当社は、時計事業、コンシューマ事業(デジタルカメラを除く)、情報機器事業といった既に市場において確固たるシェアを獲得し、今後大きな追加投資を必要とせず、安定的なキャッシュ・フローの獲得が見込まれる事業を「基盤事業」、デジタルカメラ事業、通信事業(携帯電話)、デバイス事業(TFT液晶)といった、

マーケットが今後世界的に拡大していくことが見込まれる反面、参入企業数も多く競争が激化している事業を「発展事業」として位置付けております。今後も「基盤事業」で安定的利益を獲得しながら「発展事業」の営業利益を拡大させ、全社の営業利益率10%の達成を当面の目標としてまいります。また、収益力向上施策といたしまして、生産資材本部(昨年12月に設置)と開発本部が連携・協業し新製品立上げ時点から最適なコストを追求し、販売価格の維持、直接材料費の削減による原価率の大幅低減を目指してまいります。具体的には以下の点を重点施策としております。

- 技術力と商品企画力の強化による差別化商品の市場参入
- 開発段階からの徹底した製品コストの削減
- ・サプライヤーの選別と集約・絞込みによる規模の効果追求
- ・海外現地調達によるコストダウンの推進
- ・部品点数の削減／開発リードタイムの短縮

2. 財務体質の強化

財務体質の強化に向けて、以下の施策を強気に推進しております。

- 事業利益率の向上
- 売上債権の早期回収、在庫の削減等増加運転資金の圧縮
- 購買業務の一元管理、購買サイクルタイムの短縮等による固定費の削減やコスト競争力向上
- 効果的・効率的設備投資

これらの施策により、キャッシュ・フローの創造に努め、来期末までに400億円の有利子負債を削減、株主資本比率、D/Eレシオの改善を目指し、財務基盤の強化を図ってまいります。

3. コーポレート・ガバナンスへの取り組み

当社はCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)を企業経営の重要な柱と考え、体制強化を図りながら積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ当社の経営方針にご理解をいただき、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。